

入鹿小だより

～わくわく登校・ニコニコ下校～

熊野市立入鹿小学校
校長 樋口 佳洋
平成 31年 3月 25日
第 24号

4月から新しい生活が始まります

3月20日に第140回卒業式を行いました。上ノ坊真人さん、奥さくらさん、西ゆりなさん、前川琉郁さん、向井令弥さんの5人が入鹿小学校を巣立っていきました。5人は4月から中学生になりますが、小学校から中学校への旅立ちは陸上競技の3段跳びにたとえると、「ホップ」にあたるかと思えます。ホップとは「小さな軽いジャンプ」という意味があるそうです。軽いジャンプとは言え、小学校と中学校では変わることが結構あります。頑張りが必要ですね。でも、この5人なら大丈夫。きっと素敵な中学生になってくれるでしょう。中学校での活躍を期待しています。

また、今日25日は修了式。この1年の締めくくりをしました。この1年でどの子どもずいぶん成長したと思えますし、成長したことを素敵に思います。

4月からは中学生、新学年と新しい生活が始まります。どんな生活が始まるのだろうか、すでにワクワクしている子もいるかと思えます。どんな生活になるのかは皆さん次第です。自分の人生、自分で道を切り開いていくことが必要です。年齢に応じて壁の高さはちがいますが、自分が努力すれば、いつかは必ず報われます。努力を惜しまない人は誰なのか、神様はちゃんと見ていますよ。

最後に、この1年間、保護者の皆様、地域の皆様のご協力のおかげで、入鹿小学校の子どもたちが素敵に成長することができました。本当にありがとうございました。今後とも皆様のご協力・お力添えをよろしくお願いいたします。

令弥さん、基晴さん やったね！

6年生の向井令弥さんが、第25回熊野市立図書館主催読書感想文において優良賞を受賞しました。また、1年生の大池基晴さんが、第39回三重県小中学校書初め展において入賞しました。おめでとうございます。

4月当初の予定

8日(月) 始業式、着任式 (11:30下校)

9日(火) 入学式 (11:30下校)

10日(水) 給食開始(1年生 13:30下校、他学年 14:30下校)

18日(木) 全国学力・学習状況調査(6年生)

第1回みえスタディチェック(4年生・5年生)

お別れ集会 「思い出ベスト3」

世界各地の日本人学校のどこでも同じような状況ですが、児童生徒の転出入が頻繁にあります。親の勤務の関係で海外赴任に帯同してくることにより日本人学校に転入し、赴任期間が終わると日本へ帰国、あるいは他の場所に赴任となり日本人学校を転出となるわけです。

マナウス日本人学校も例外ではありません。大きな学校に比べたら少ないでしょうが、転出入が頻繁にありました。転出のときはこれまでいっしょに過ごしてきた友だちとお別れするわけですから、全校児童生徒が集まって「お別れ集会」を開催していました。そこでの一番の目玉は「思い出ベスト3」でした。文字通り、たくさんある思い出の中からその子ならではのベスト3を残る子たちが選び、発表するのです。例えばある子は、「プール事件パート1」「プール事件パート2」「かんぱい事件」の3つ、ある子は「『アイ君』と呼ぼう!」「骨が折れた?事件」「マナウス軍団長」、またある子は「すっ、すごい!」「つ、つよい!」「Saude」知らない人にとってはわかりづらいかもしれませんが、その子をよくあらわした思い出を本当に上手にまとめてあります。お別れの会ですから本当は悲しい会になるのですが、この時だけは結構盛り上がり、みんな笑顔になります。中には自分のときはどんなベスト3になるのか楽しみにしている子もいるほどでした。

私が赴任していた3年間で、20人程の児童生徒が転出、卒業していきました。その当時の日本から来ている子が20人くらいでしたから、私たちがマナウスへ来たときに在籍していた児童生徒は、ほとんど入れ替わってしまいました。また、派遣教員はだいたい2~3人が入れ替わりますから、その子どもたちがいると転出児童生徒の数は一気に増えてしまいますので、3月のお別れ会では、どうしても人数が多くなりました。私が帰国するときは、もう一人、同時に派遣された教員の子ども2人と我が家の娘1人、もう一人別の児童1人の計4人が転出していきました。その直前には中3の卒業生が4人いましたから、3月のうちに8人が転出、卒業していきました。

「会うは別れの始め」と言いますが、日本人学校では教員も含めて在籍の周期が短いことから、そのことを強く感じました。私たち教員は毎年、日本にいようと、いまいが、そのことを繰り返しています。入学してくる子どもは、小学校なら6年、中学校なら3年すると卒業して旅立っていきます。だからこそ、いっしょにいる時間を大切に、いろいろな場面で楽しかったこと、悔しかったことなどたくさんの思い出を作りながら、共に過ごしています。その時その時を大切にしたいですね。

